

句宮保・言・飯・麦・阿)

14 29 01 かのナシ麦

14 29 01 御影におほむかけに保

14 29 01 たちつき立ならひ麦阿

14 29 01 人こそ保

14 29 01 ところこころ保言

14 29 01 御すゑ／＼に御すへ／＼にも保言

14 29 01 ありかたかりけりありかたかりけれ保有か

たかりけるを麦阿

14 29 02 三宮二のみやと保言飯三宮と言飯

14 29 03 そのナシ保言飯

14 29 03 おと／＼にて所にて麦阿

14 29 03 おひいておほいてヲ削ッテいてヲ書ク」

飯

14 29 03 給し給へりし麦阿

14 29 03 わか君とわか君なん麦阿

14 29 03 二所なんところなん言二ところそ麦

阿

14 29 03 とり／＼にきよらなるさま／＼にいとときよ

らなる保言きよらなるきよらなる保」

14 29 04 御名な保言御名を麦阿

14 29 04 給てけにいとなへてならぬ御有さまともなれ

と給へれと保言

14 29 04 御有さまとも御ありさま飯御有様とも

麦

14 29 04 いとまはゆききははまはゆきさまには

飯  
14 29 05 おはせざるへしたよのつねの人さまにめて  
たくあてになまめかしくおはするをもと／＼し

てあらずよのつねのめてたき人さまになま

めかしくあてになともものしたまふをいと／＼し

く保言飯めてたきめてたきさ言ナシ飯」な

まめかしくなまめかしくて飯」こしくも

と／＼して飯」

14 29 05 なまめかしくなまめかしく麦阿

14 29 06 思きこえたるをもへる保言 思聞えたる

麦

14 29 06 有さまもありさまの保言ありさまのいみし

く飯ありさまは麦阿

14 29 07 御ひ／＼きはひよりも御ひかりよりは保御

ひかりは言御ひ／＼きよりも飯

14 29 07 たちまさり給へるたちまさり給保言たちま

さる飯

14 29 07 おほえからおほえに言御おほえかつま

ノ御八虫損ニテ推読」麦阿

14 29 07 かたへはかたちはかたちは麦かたちは

阿

14 29 07 こよなういとこよなく飯

14 29 08 いくしかりけるいつかしかりける保

14 29 08 むらさきの上のむらさきのつゑ保言

14 29 08 御心よせことに御心よせよせことに保御心

よせことなりし飯」ことに御心よせ麦阿

14 29 08 はく／＼みきこえ給しナシ飯

14 29 08 故ゆへに麦阿

14 29 08 三宮は三のみやは保女一宮は言

14 29 09 二条院に二つゝのふんに保  
14 29 09 おはしますおはします三のみやはなほかの  
六てうのふんにかのすみたまひしひんかしの

たいをそのよの御すまひあらため給はてをり

おりになほこひしのひきこえ給保八」三の

みやは」以下」きこえ給」又ナシセケチ、後

補力」保言」三のみやは三宮は言」六てうの

ふんに六てうのふんに保六條院に言」お

はします女一の宮は六條院にみなみのまちの

ひむかしのたいをそのよの御しつらひあらた

めすおはしましており／＼につけてこひきこ

え給飯

14 29 09 さるナシ保言

14 29 09 やむことなき物にやむことなきことにて

飯

14 29 09 をきたてまつりたまでをいたてまつりたま

ひて保言をきたてまつりて飯し奉らせ給て

ふかく思聞えさせ給麦阿

14 29 10 御門きさきこの宮を御かときさいも飯御

門后此宮をは麦阿

14 29 10 かなしつしたてまつりナシ保言かなしき物

にし奉らせ給てかこき聞えに麦阿

14 29 10 かしつききこえさせかしつききこえ保言か

しつき／＼こえ飯かしつき麦阿

14 29 10 給宮なれば給入れは麦阿

14 29 10 うちすみをうちすみ飯

14 29 11 たてまつり給へと給へと聞え給へと麦

阿

14 29 11 古さとに御ふるさとに保言ふるさとを飯麦

14 29 11 すみよくすみよう保言  
14 29 11 なりけりナシ保言けり麦阿

14 29 11 御元服 御けんふく保 御くゑんふく飯

14 29 12 し給てはしたまひて 後補力保 し給て言  
麦阿

14 29 12 兵部卿とひやうぶきやうのみやと保言飯麦  
阿 ひやうぶきやうのみやと保 兵部卿宮と

飯麦阿  
14 29 12 女一の宮は六条院南のまちのひんかしのたい  
を其世の御しつらひあらためすおはしまして

朝夕に恋忍ひきこえ給 ナシ保言飯 女一宮  
は六条院みなみのまちのひんかしのたいをそ

のよの御しつらいあらためすあさゆふこいき  
こゑ給「後補力」保

14 29 12 女一の宮 女一宮麦阿

14 29 12 六条院南のまちの 六条院の南の町にかけて  
麦阿

14 29 13 きこえ 奉り麦阿

14 29 13 二宮も一のみやも保 この宮も飯  
14 29 14 御やすみ所に 御むやすみところ保

14 29 14 し給て までなとしたまふ保言  
14 29 14 御さうじにしたまふて おほむさうじにて保  
言麦阿 おほむ 御言麦阿「御さうじにはした

まふ飯  
14 29 14 右のおほい殿の 右のおとの飯 右大殿の麦  
阿

14 30 01 中ひめ君 中姫宮阿

14 30 01 たてまつり ナシ保言飯  
14 30 01 給へり たまへり保

14 30 01 いと ナシ保言 御中らひにて麦 よき御中ら  
ひにて阿

14 30 01 をもくしうものくしく保言麦阿 おもく

しく飯物くしく麦阿  
14 30 02 人からも人め(から)も保

14 30 02 すくよかになんすくよかにおもくなん保  
言すくよかになん飯

14 30 02 物し給ける おはしませる保言 おはしける  
飯

14 30 02 おほい殿の 右大しんとく保言 大将殿く  
飯 大将の麦阿

14 30 02 御むすめは おほむすめ保 御むすめ言麦  
阿

14 30 02 いとあまたものしたまふ ナシ保言 いとあま  
た物し給を麦阿

14 30 03 大ひめ君は あねきみは 飯八をノ上カラあう  
書ク保言飯

14 30 03 まいり給て ナシ保言飯  
14 30 03 なきさまにてすくなくて保言なくて  
飯

14 30 04 そののこりの保言のこり飯  
14 30 04 つきくつきくあまたものし給へは保言  
飯「つきくつきく」の言「給へは 給へる

飯」  
14 30 04 みなこの保言

14 30 04 こそはとこそいと麦

14 30 04 世の人も思きこえ ナシ保言 よ人も思聞え麦  
阿

14 30 04 さいの宮も さいの宮も保 后宮も麦  
阿

14 30 05 のたまはすれと きこえたまひけれと保言き

こえ給へと飯

14 30 05 兵部卿の宮は 兵部卿宮は言飯 兵部卿宮の御  
心には麦阿

14 30 05 おほしたらす おほいたらす保言 おもほした  
らす麦阿

14 30 05 御心よりおこらさむ 御心よせを御らんせ  
さらん言 御心をこららん飯

14 30 06 など ナシ保言飯

14 30 06 すさましくすさましく保言すさましくも麦  
阿

14 30 06 おほしぬへき おほえぬへき言 おもほしぬへ  
き麦阿

14 30 06 御気色 御心保言 御心さま麦阿

14 30 06 なめりなんめるを飯 なるる阿  
14 30 06 おとくも ナシ保言飯

14 30 06 なにかはやうの 何かはさやうの言 何かやう  
の麦阿

14 30 07 さのみしも保言飯  
14 30 07 うるはしうはとふるはしうと保うるはしく  
はと飯麦阿

14 30 07 しつめ給へとかのをくもしつめ給て保言  
飯をくもおとく言給て 給へと飯「

14 30 07 また ナシ保言 また飯  
14 30 07 御けしきけしきも麦 御けしきも阿

14 30 07 あらむをは あらむをはた保言飯 あらむをは  
た 後補力「保

14 30 07 もてはなれてもあるましうもてはなるまし  
う保言飯もてはなるましく飯  
14 30 08 おもむけていたう ナシ言

14 30 08 おもむけておもふけて保麦

14 30 08 いたういみじう保

14 30 08 きこえたてまつり保言

14 30 08 給たなまふ保

14 30 08 六の君 姫君言 六君麦阿

14 30 08 その比のそのころ保言阿 そのころよに

飯 その比も麦

14 30 09 すこしナシ保言

14 30 09 我はと思のほり 思あかり飯

14 30 09 給へる 給ける保言 給へる様を麦阿様をさ

まを阿

14 30 09 みこたち 御子立麦阿

14 30 09 御心 ころる保言

14 30 09 くさはひにものし 給ける くさはいなりける

保言

14 30 09 給ける 給阿

14 30 10 さまノつとひ 給へりし御方ノなくノつ

ぬにおはすへきすみかともみなおのノつ

つろひ 給しにぬんかくれたまひてのちいつ

れの御かたノもこノかしこつみのあるへき

おほんすみかになくノもつろいさため給

しに保言飯 ころかしこころかしこにうつろ

ひ飯 ころのつめに言飯 ころあるへきすむ入

き飯 ころおほん 御言飯 ころなくノもなくノ

言飯 ころうつろいさためさたまり飯 ころ様ノ

につとひ 給へりし御かたノも院かくれ給て

後はころかしこなくノつるなるへきすみ

かともみなうつろひ給しに麦阿 ころ様ノ

ゐなるへきつめになるへき阿 給しに給

にし 后出に八虫撰ニテ推読 麦

14 30 11 きこえしは聞しは麦

14 30 11 東の院をそひんかしのあむを保言飯 東院を

そ麦阿

14 30 11 御そつむむ所にて 御そふむむののにて保言

「御そふむむの 御そつふんと言 御せつふんこ

ろにて飯 御そつふの所にて麦阿

14 30 12 わたりそこにわたり飯

14 30 12 給にける たまふ保言飯

14 30 12 入道の宮はにつたつの宮は保 入道宮は麦

阿

14 30 12 三条宮に 三条のみやに保飯 もとの三条の宮

に麦阿 三条の宮に 三条宮に阿

14 30 12 いまきさきは いまきさきの宮はた保言い

まきさきの宮 いまきさいの宮言 いまのき

さいは飯

14 30 13 院のうち 院の中言 院のうちの麦 院のうち

阿

14 30 13 さひしく人すくなに あれゆきてさひしう保

言 あれのみ行てさひしく飯 人すくなにさひ

しく麦阿

14 30 13 成にけるを なりゆきければ保言 なりゆくを

飯 なりにける阿

14 30 13 右のおと 右大との保 右のおほいと 言

阿

14 30 14 いけるかきりの世に いけるさかりの世に

飯 いたるほと麦阿

14 30 14 とめてつくし飯

14 30 14 つくりしめたる人の つくろひこめたる保 つ

くろひしめたる言 つくろひしめたる人の

飯

14 31 01 家ぬの家ぬ言 家の飯麦阿

14 31 01 なこりなく ナシ保言 なこりなう飯

14 31 01 世のなこりも ナシ保言麦阿 よのならひも

飯

14 31 01 つねなく つねのよなしと保 つねのかなし

さと言 つねなしと飯 つねのあるしなしと麦

阿 つねのあるしなしと麦

14 31 01 いと ナシ保言麦

14 31 02 わか 我麦

14 31 02 世にあらんよの保言飯

14 31 02 院 ナシ阿

14 31 02 あらさす あらさて飯

14 31 02 おほち おほみち保 おうち麦阿

14 31 03 など ナシ保言

14 31 03 かれはつましうと あれはつましくてと

飯

14 31 03 おほし おまほし麦阿

14 31 03 のたまはせて のたまひて保言飯麦阿

14 31 03 うしとらのまぢにかの うしとらのまぢ

に保言

14 31 03 一条の宮を 一條宮を言麦阿

書クカレ保 一條宮を言麦阿

14 31 04 たてまつり 奉らせ麦阿

14 31 04 夜ことこのあんとに保言飯 ころとに麦

- 阿  
 14 31 04 十五日つゝ十五日をわけつゝ保言  
 14 31 04 うるはしうナシ保言飯麦阿  
 14 31 05 すみナシ麦阿  
 14 31 05 二条院とて二条のあんとして保  
 14 31 05 つくりつくろひ言  
 14 31 05 六条の院の六條院の言飯麦阿  
 14 31 05 春のおとゝとて春のおとゝの言  
 14 31 05 のゝしるゆすりし保言のゝしりし飯麦  
 阿  
 14 31 06 たゝひとりのみなた人ひとりの保言たゝ  
 人ひとりの飯  
 14 31 06 御末 おほむすへ保  
 14 31 06 成けりなりなりけり保ナシ飯  
 14 31 06 とみえてとみえたり保言飯  
 14 31 07 しつゝナシ保言  
 14 31 07 給へり給保言給てすくし給飯  
 14 31 07 おほいとのは大との保飯おとゝは言  
 飯  
 14 31 07 つかたの御事をもいつれの御かたをも  
 飯  
 14 31 08 むかしのたゝいにしへの保言飯  
 14 31 08 御心をきて御をきて阿  
 14 31 08 まゝにやうに麦阿  
 14 31 08 あまねきあまなう保言あまねく言  
 14 31 09 給にも給ても保言給つゝ飯  
 14 31 09 かやうにてかくてすえのよに保言かくても  
 飯 かやうにても麦阿  
 14 31 09 とまりとゝまり言
- 
- 14 31 09 給へらましかはたまへらましかは保  
 14 31 09 いかばかりいかに保言  
 14 31 09 心を心さしを保言飯  
 14 31 10 つかうまつりナシ飯  
 14 31 10 みえみ麦阿  
 14 31 10 とりわきてとりわきたる保言とりわきた  
 る保とりわきて見え奉らす麦阿  
 14 31 10 心よせと心よると言心よせ麦阿  
 14 31 11 みしり給へきみしり給飯しり給へき麦  
 阿  
 14 31 11 すき給にし事をすきにしよを保すきにしか  
 言すきにしことを飯  
 14 31 11 くちおしうくちをしく飯麦阿  
 14 31 11 あかすかなしうあかぬことに保言あかすか  
 なし麦  
 14 31 12 あめのしたのあめかしたの飯天下の麦  
 阿  
 14 31 12 院を院をぬむヲ削ツテ院ヲ書ク保  
 14 31 12 恋きこえぬこひ聞ぬ阿  
 14 31 12 なく人そなきつ保なつ言  
 14 31 12 つけてもつけて飯  
 14 31 12 世は世には麦阿  
 14 31 12 けちたるたちたる言  
 14 31 13 なけきをせぬなけきせぬ飯麦阿  
 14 31 13 おりなかりけり人なつこひたてまつる保  
 言人もなくこひをしみきこゆ飯  
 14 31 13 ましてナシ保言まいて麦阿  
 14 31 13 人々したしき人ノ保言人麦阿  
 14 31 14 などはなんと保などの言
- 
- 14 31 14 さらにもきこえず御しのひくさには保言さ  
 らにもいはす麦阿  
 14 31 14 御事をは御事を言  
 14 31 14 又たゝ保言飯  
 14 32 01 むらさきのむらさきのうえの保言  
 14 32 01 御有さまを御ありさまをのみそ飯  
 14 32 01 しめつゝしめてそ保言しめて麦阿  
 14 32 01 よろつの事にナシ飯  
 14 32 01 つけてナシ保言飯  
 14 32 01 給はぬ給保言給はぬは阿  
 14 32 01 時のまなしナシ保言時のまなし飯麦  
 阿  
 14 32 02 春のナシ麦阿  
 14 32 02 花のさかりはさくらは保言花さかりは麦  
 阿  
 14 32 02 おほえおもほえ麦  
 14 32 02 物と物に保言飯麦阿  
 14 32 02 二品宮の二ほんのみやの保言飯麦阿  
 14 32 03 わか君は賤わか君は後補力言  
 14 32 03 給へりしたまひし保  
 14 32 03 冷泉院の御門れむせいゐんのみかと保飯冷  
 泉院にのみ麦阿  
 14 32 03 とりわきてとりわき麦阿  
 14 32 03 おほしおもほし言麦阿  
 14 32 04 後の宮も中宮も保言飯后宮も麦阿  
 14 32 04 みこたちなとみこたちなとの保言みこなと  
 も飯  
 14 32 04 心ほそつゆくすえのこゝろほそつ保言ゆく  
 す心ほそく飯

14 32 04 おほさるゝおもほさるゝ麦阿  
 14 32 04 御つしるみ御つしる言  
 14 32 05 たのみきこえ給へり御元服なとも院にてナシ飯  
 14 32 05 きこえナシ保言  
 14 32 05 御元服おほむかうぶり保言おほむ御言けんふく麦阿  
 14 32 05 せさせ給せさせたてまつりたまふ保言飯  
 14 32 06 給ふ給ひ保給言麦阿給ひ「本文同筆力」言  
 14 32 06 秋右近中将に秋右近中将に保秋右近の中将に言秋左右近衛中将に飯秋のつかさにて右中将に麦秋の司にそ右中将に阿  
 14 32 06 成てなりたまひて保言麦阿  
 14 32 06 御たうはりの御たういりの飯  
 14 32 06 なとをなと保なとをを後補力言なとを飯  
 14 32 06 いつこのいつこの飯いつれの麦阿  
 14 32 07 いそきいそきて麦阿  
 14 32 07 おとなひさせおとなひさせたてまつり保八ノ上カラたヲ書クカ「保言  
 14 32 07 給給を麦阿  
 14 32 08 さうしに御さうしにて保言御さうしに飯さうしにて麦阿  
 14 32 08 などなとも保言飯麦阿  
 14 32 08 みつからナシ保言御身つから飯  
 14 32 08 御覽しいれて御らんしいれつゝ保言飯

14 32 08 わかき人もわかい保言わかき人ノも飯  
 14 32 08 わらはわらはへ保言わらはわらは麦  
 14 32 09 女のよの麦阿  
 14 32 09 御きしきよりもきしきよりも保言麦阿御気色よりも飯  
 14 32 09 よりもより麦阿  
 14 32 09 まはゆくナシ保言  
 14 32 09 うへにも宮にもつゝゑに保言  
 14 32 10 女房の女もの麦  
 14 32 10 中にもナシ保言なかに飯  
 14 32 10 あてやかにめやすきはめやすしと御らんするをは保言あてにめやすきは飯  
 14 32 11 わたさせ給つゝわたさせ給て保言わたし給つゝ飯  
 14 32 11 院の宮の飯  
 14 32 11 心につけて心につき飯  
 14 32 11 ありよくナシ保言飯ありよう麦阿  
 14 32 11 思へくとのみおもふへうとのみ保言おもふへく(毛)と(こ)のへ飯  
 14 32 12 御あつかひくさにおほんかしつきくさに保言おほん御言御あつかひくさと飯  
 14 32 12 おほされ給へりおほされたり飯おもほされ給へり麦阿  
 14 32 12 故ちしのおほい殿のちしのおほいとのおほいの大官の言こちしのおとゝの飯麦阿  
 14 32 13 女宮女宮なん保言麦阿姫宮飯  
 14 32 13 一所ひとり麦阿

14 32 13 おはしけるを おはしましけるを保言飯  
 14 32 13 なむナシ保言麦阿  
 14 32 13 かきりなくかきりなう保言  
 14 32 13 かしつきかしたてまつり保言飯  
 14 32 13 御ありきまさま麦阿  
 14 32 14 きさいの宮のきさいの宮ぬにノ上カラ後出のヲ書ク「保」後の麦阿  
 14 32 14 御おほえのおほんおほえ保言おほん御言  
 14 32 14 とし月にとし月にそえて保言飯麦阿  
 14 32 14 けはひに御けはひに飯  
 14 32 14 などかなと保  
 14 32 14 さしもとさしも阿  
 14 32 14 みるみゆる保言飯麦阿  
 14 32 14 御をこなひおこなひ保言  
 14 33 01 月の月こと保言飯月ことに麦阿  
 14 33 01 御念仏御ねふつ保念仏麦  
 14 33 01 二たひのふたたび飯  
 14 33 02 御八講おほんはかう保  
 14 33 02 おりノのたうとき御いとなみはかりをおりノにたうときことのみ御いとなみに飯  
 14 33 02 し給てしたまて保  
 14 33 03 出入給ふいていりしたまふ保言  
 14 33 03 たのもしき影にたのもしく飯  
 14 33 03 おほしたれはおほいたれは保言思きこえたまへれは飯おもほしたれは麦阿  
 14 33 04 あはれにてあはれに飯  
 14 33 04 めしまとはしめしまつはし保めしまとはして麦

14 33 04 春宮も 春宮にも保言 春宮飯  
14 33 04 つき／＼の つかさ／＼の飯  
14 33 04 宮達も 宮たちにも保言

14 33 04 御あそひかたきにて おほんあそひかたきに  
て保 御あそひかたき麦 御あそひかたきに  
阿

14 33 05 給へは たまふに保言 給へり飯  
14 33 05 いとまなくいとまなう保言飯  
14 33 05 くるしくくるしうて保言 くるし飯 くるし  
う麦阿

14 33 05 身を 身をも麦阿  
14 33 05 わけてしかなとわけてしかなとそ保言  
飯

14 33 06 覚 おもほえ麦阿  
14 33 06 給ける 給けるを言ノを 八後補力言麦阿  
14 33 06 をさな心ちに をさなき心ちにも飯 おさなき  
心に麦阿

14 33 06 ほの ほの麦  
14 33 06 このおり／＼ ことをのこり保言飯  
14 33 06 いふかしういふかしく保麦阿 ゆかしく  
飯 いふかしく麦

14 33 06 思わたれと 思わたれとも麦阿  
14 33 07 宮には 宮にはた保言飯 宮にた 麦 宮にた  
に阿

14 33 07 ことの なることの保飯麦阿 なる事言  
14 33 07 けしきにても けしきにも保言  
14 33 07 しりけりと しりにけりと飯

14 33 07 おほされん おほされんは保言 おほされんも  
飯 おもほさんも麦阿

14 33 08 すち ことのすち飯  
14 33 08 よとよもの よとよもの さノ上カラと 書  
クカ保

14 33 08 心にかけて 心こそにかけて保  
14 33 08 いかなりける いかなりけん保言 いならむ  
飯

14 33 08 事には よにはかと飯  
14 33 08 契にて 契に麦阿  
14 33 09 かくかく保言飯 かくやん事なき事ながら麦  
阿

14 33 09 やすからぬ やすからぬす 削ッテぬ 書ク  
飯  
14 33 09 思 思の麦阿

14 33 09 なりいてけん なりけん保言 也いてんけん  
麦 なりいてけん 阿  
14 33 09 せんけうたいしの けうあ大しぬ せんけうた  
いしの 本保てむけう大師の飯

14 33 09 我身にとひけん わかみをとひえけん保言 我  
身を とひみけん飯  
14 33 10 さとりをも さとりも保言麦阿

14 33 10 えてしかなとそ えてしかなと保言飯 麦  
阿  
14 33 10 給ひける ける保言 給飯 給て麦阿

14 33 11 誰にとはましたれにかとはん麦阿  
14 33 11 しらぬ我身ぞ しらぬわか身を などの給へと  
麦阿

14 33 11 いらふへき人もなし ことにふれてわか身につ  
ゝかある心ちするも ナシ保  
14 33 11 いらふへきいとふへき言 いふへき飯

14 33 12 ふれて ぶれては麦阿  
14 33 12 わかみに 我身言  
14 33 12 物なけかしく ものなけかしう保言麦阿

14 33 13 思めぐらしつゝ おもほしめぐらしつゝ  
飯  
14 33 13 宮も みやも 保 宮麦阿

14 33 13 御かたち 御身麦阿  
14 33 13 やつし給て やつしたまふて保 やつし給けむ  
飯

14 33 13 御道心にてか 御たうしむにてかは保言  
飯  
14 33 14 おもむきをも ぶき保

14 33 14 給けん 給にけん言  
14 33 14 かく かく保飯 ナシ言 かし麦阿  
14 33 14 なりける なる保言 なりけむる 飯

14 33 14 みたれに みたれにそ麦阿  
14 33 01 おほしなる おもほしなる麦阿  
14 34 01 ふし ぶし 麦阿

14 34 01 もりいて もりいて 麦  
14 34 01 しらしやは しらしや飯  
14 34 02 けしきを けしきを も飯麦阿

14 34 02 なき ナシ言  
14 34 02 なめりと なめりと飯 ならんと麦阿  
14 34 02 おもふ おもふに保言 おほす飯 おもほしつ  
ゝ麦阿

14 34 03 なめれとなれと飯麦阿  
14 34 03 はかなく はかもなく保 はかも なく 本文  
同筆力言  
14 34 03 おほとき給へる おほとかなる飯

14 34 03 御さどりのほとに 御さどりの程には飯さと  
 りのほとには麦阿  
 14 34 03 露も つゆをも保言  
 14 34 04 あきららかに あきららかに麦  
 14 34 04 ことも こと保言  
 14 34 04 かたし いかたたく麦阿  
 14 34 04 いつゝのなにかしも たいはほんにあるいつ  
 へのなにかしも飯 いくつかの雲も麦 いくつかの  
 雲も阿  
 14 34 05 み心ちを 御みちをたすけて 保八ちニミセケ  
 チ力保言飯 みをたすけて麦阿  
 14 34 05 おなしうは をなくは飯麦阿  
 14 34 05 かの ナシ飯  
 14 34 05 給ひけんも たまひにけん人も保言飯  
 14 34 05 やすからぬ やすからず飯  
 14 34 06 むすほゝれて むすほるれぞるハナ力言  
 14 34 06 をしはかるに をしはかるるれば飯  
 14 34 06 せまほしき せまほし麦  
 14 34 07 元服は 元服にも保 けんふくも言くゑんふ  
 くは飯  
 14 34 07 給けれと 給けんれちんノミセケチ八本文同  
 筆力言 給けれ共麦 けれと阿  
 14 34 07 すまひはです えすまひはです保言 えすまひ  
 はて給はず飯  
 14 34 07 世中に 世に飯  
 14 34 07 もてなされて もてはやされて言  
 14 34 08 心に こころにも保言 こころにも保心に  
 は麦阿  
 14 34 08 つかすのみ思しつまり つかすにもおもほさて

しつまり麦阿  
 14 34 08 給へり ナシ保 給言  
 14 34 09 は宮のは宮の「はヲ削ッテのヲ書ク」  
 保  
 14 34 09 御方さまの 御御かたさまの飯  
 14 34 09 御心よせ 御心よせ ヲ削ッテよせヲ書ク」  
 飯 心よせ麦阿  
 14 34 09 ふかくて ふかつて保言  
 14 34 09 おほされ おもほしめされて麦阿  
 14 34 09 さいの宮 后宮麦阿  
 14 34 10 ひとつおとゝにて ひとつおとゝにて飯ひ  
 と所にて麦阿  
 14 34 10 宮たちも 宮たち保言飯阿  
 14 34 10 おひいて をひいて保  
 14 34 10 あそひ ナシ飯  
 14 34 10 御もてなし おほんもてなし保 御もてなしを  
 言飯  
 14 34 11 末に すゑのよに飯  
 14 34 11 むまれ給て むまれたまて保  
 14 34 11 心くるしう 心くるしう保 心くるしく飯麦  
 阿  
 14 34 11 おとなしうも おとなしくも保 おとなしく  
 飯  
 14 34 12 事と 事を言麦阿 こころなん飯  
 14 34 12 院の ナシ飯  
 14 34 12 おほしの給ひしを おもほしの給はせしを  
 言 おもほしの給しを飯麦阿  
 14 34 12 給つゝおるかならず思きこえ ナシ麦阿  
 14 34 12 給つゝつゝ言

14 34 12 おるかならず思きこえ給へり ナシ保言  
 14 34 12 給へり 給飯  
 14 34 13 御子ともの君たち 御きみたち保麦阿 君たち  
 言  
 14 34 13 此君をは 此君は麦阿  
 14 34 13 やうことなく やむ事なく保言飯麦阿  
 14 34 14 かしつき ナシ飯  
 14 34 14 たてまつり給ひ けこえ給保言 きこえ給  
 へり飯  
 14 34 14 むかし ナシ保言  
 14 34 14 又なき やむことなき保言飯  
 14 35 01 そねみ そねみきこえ保言 そそみ飯  
 14 35 01 御つしるみ おほんつしるみ飯  
 14 35 01 なくつよいことなう 保八ひヲ削ッテいヲ  
 書ク力保言 なう飯ひとりつよき事なく麦  
 阿  
 14 35 01 なと有しに おはせしを麦阿  
 14 35 01 御こゝろさま おほんこゝろさまものに  
 保言 おほん御言 御心さまも飯 御心さま  
 に麦阿  
 14 35 01 物ふかく ものふかう保麦阿 物かう言  
 14 35 02 世中を 世中も麦阿  
 14 35 02 おほしなたらめし 人よりおほしのとめし保  
 言 へつほしなためし飯 おもほしなためら  
 れし麦阿  
 14 35 02 御光を 御ひかりをも保言麦阿 御ひかりは  
 飯  
 14 35 02 もてしつめ もてなしつめ保  
 14 35 03 給ひ 給言 給つ飯麦阿

14 35 03 つめにいかに飯  
 14 35 03 さるナシ麦阿  
 14 35 03 いみしきナシ保言飯  
 14 35 03 いてきぬへかりしいてきぬへかりむきヲ削ッ  
 14 35 03 事をもよを保言を飯  
 14 35 03 ことなくことなう保言こともなく飯こよ  
 14 35 03 ことなくことなう麦ことなくことなう阿  
 14 35 03 すくしすこし保  
 14 35 04 御つとめおほんつとめ保つとめ麦阿  
 14 35 04 をくらかしをくらし保言  
 14 35 04 さりけなくてさりけなつて保さりけなう麦  
 14 35 05 御心をきておほん心をきて保御をきて  
 14 35 05 またしきにまたきに保またしきし八後  
 14 35 05 いとナシ保言いたつ飯  
 14 35 05 思あかりたるおもひあかり給へる保言  
 14 35 06 こよなくこよなう保言  
 14 35 06 などナシ飯麦阿  
 14 35 06 ものし給ふけに物し給けるに言もし給ける  
 14 35 06 さるへくてさるへうて保言さるへく  
 14 35 06 いとナシ麦阿  
 14 35 07 かりに飯  
 14 35 07 やとれるかともやとれると保言やとり給へ

14 35 07 みゆるみゆ飯見る麦阿  
 14 35 07 ことごとく保言ナシ飯  
 14 35 07 給へり給へる飯  
 14 35 07 かほかたちもかほかたちなと飯  
 14 35 07 そはかといつこなむすくれたるそこはか  
 14 35 07 そはかといつこなむすくれたるそこはか  
 14 35 08 きよらとときよらとも保言つつくしと麦  
 14 35 08 所も所は飯  
 14 35 08 なきかおはせねと麦阿  
 14 35 08 たナシ保言  
 14 35 08 なまめかしうなまめかしく飯麦阿  
 14 35 09 心のおくこころのをく保  
 14 35 09 おほかりけなるおほかりはなる保おほか  
 14 35 09 けはひのけはひぬをノ上カラけヲ書クカ  
 14 35 09 けりナシ保言  
 14 35 09 香御有か麦阿  
 14 35 09 かうはしきそかうはしきさそきノミセケケ  
 14 35 10 此世のこのよの人の保言此世の物の麦  
 14 35 10 あやしきまであやしき返句ひみちける麦  
 14 35 10 あたりわたりは飯  
 14 35 10 へたゝるへたゝりたる保へたてたる飯

14 35 11 をい風にをひかせも保言飯麦阿  
 14 35 11 ほかほと保  
 14 35 11 しけるしけるを保  
 14 35 11 さばかりになりぬるさはかりなる飯  
 14 35 12 御有さま御有様麦  
 14 35 12 やつれはみやつれやはする麦阿  
 14 35 12 ありなるやはあるへきありなるやつやはあ  
 14 35 12 我われは保言  
 14 35 12 つくるひナシ保言身にはつくるひ麦  
 14 35 13 よういナシ飯  
 14 35 13 へかめるをへかめれと麦阿  
 14 35 13 かくかう保言  
 14 35 13 かたはなるまでかたはなるまでかほりいり  
 14 35 13 たちよらむたちよらんも麦阿  
 14 35 14 くまくれ麦  
 14 35 14 しるきしるく飯阿しるく麦  
 14 35 14 ほのめきのほのめき給はんに麦阿  
 14 35 14 有ましきにあるましき(き)に飯  
 14 35 14 うるさかりてうるさかり給て飯うるさくわ  
 14 36 01 たりもつけ給はねととりもつけたまはねと  
 14 36 01 保言とりもとりもな保とりもなつけ給  
 14 36 01 御からひつにからひつ飯  
 14 36 01 御からひつにからひつ飯



14 36 01 香のかとまゝからのかうとんゝ保言とんゝ  
 とまゝ言「かうとも飯かうのかともの麦阿  
 14 36 01 此君のはこの宮のは保言「こののは麦  
 阿  
 14 36 02 いふよしもなき いふよし飯 いふよしなきに  
 麦阿  
 14 36 02 くはへくはえて保くはふりにやにほひこと  
 也麦阿くはふりにやくはふるにや阿「  
 14 36 02 おまへの御まへの飯阿 御前の麦  
 14 36 02 花の木も はなにも保言  
 14 36 02 はかなく はかなう保 はかう言  
 14 36 02 袖ふれ給ふ そてうちかけたまふ 保八てヲ  
 削ッテたヲ書クカ「保言そてそて保」袖  
 かけ給飯麦阿  
 14 36 02 むめの香は 梅か枝も飯  
 14 36 03 しづくにも しづくに飯  
 14 36 03 身に かに保  
 14 36 03 人おほく 人もすくれて麦阿  
 14 36 03 ふちはかまも ふちはかも麦 ふちはかま  
 阿  
 14 36 04 をひ風をひ風も保をひ風に言飯をひ風也  
 (に)飯  
 14 36 04 おりなしからをりなしからに保言飯 おりふ  
 しから麦阿  
 14 36 05 かく かう飯 ナシ麦阿  
 14 36 05 いと ナシ飯  
 14 36 05 香に かほりに麦阿  
 14 36 05 兵部卿の宮なん 兵部卿宮なん言飯阿 兵部卿

四宮なん麦  
 14 36 06 いとましくいとまじう保言  
 14 36 06 おほしておもほして麦阿  
 14 36 06 それははんへ(それは保 ナシ麦阿  
 14 36 06 よろつの ナシ保言  
 14 36 06 うつし うつしのか麦阿  
 14 36 06 給ひたまふ飯 給飯阿  
 14 36 07 ことわざ わさ言「ことくさ麦阿  
 14 36 07 あはせいとなみいとなみあはせ飯 あはせい  
 となみたぎくゆらかし麦阿  
 14 36 07 御前のをまへの保言飯麦阿 御まへの飯  
 14 36 07 せんさいにもせんさいも麦阿  
 14 36 07 梅花そのむめのはなその保言麦阿  
 14 36 07 なかめ給ななめたまひ保言 なかめ麦阿  
 14 36 08 めつる いろにめつる保言飯麦阿  
 14 36 08 女郎花をみなへしお毛 保八のヲ削ッテおヲ  
 書クカ、おニミセケチカ「保言  
 14 36 08 すめる する保言よする麦阿  
 14 36 09 うつし うつり麦阿  
 14 36 09 給はず ナシ飯  
 14 36 09 菊にきく保言麦阿 まで飯  
 14 36 09 藤はかま 藤はかまの言  
 14 36 09 などはなとを保言 ナシ麦阿  
 14 36 10 すさまじき すましき麦  
 14 36 10 ころをひ これをひ麦  
 14 36 10 おほしすてす おもほしすてす麦阿

14 36 10 わさとめきていとわさとかましきまで保  
 言  
 14 36 11 このまじうこのましく保飯麦阿  
 14 36 11 おはしける おほしける保言  
 14 36 11 やはらきてやわらきすきふてノ上カラすヲ  
 書ク「飯  
 14 36 11 すいたる すきたる保言  
 14 36 12 方に 方には麦  
 14 36 12 世の人はよ人も保言よ人は麦阿  
 14 36 12 思きこえ きこえ阿  
 14 36 12 源氏はくゑんし飯  
 14 36 12 かく かう麦阿  
 14 36 13 事と 事そ麦阿  
 14 36 13 しみ 給へる しみたまふ保言 しみたる  
 飯  
 14 36 13 み給へる方そなかりしかし源中将此宮にはナ  
 シ麦阿  
 14 36 13 方そなかりしかし かにそをさせさりしか  
 し飯  
 14 36 13 源中将此宮にはつねにけんしの中しやうは  
 つねにこのみやに保 源中将はつねにこの言  
 14 36 13 まいりつゝ ま入かよひつゝ飯  
 14 36 14 御あそひなにも おほんあそひなにも  
 保 あそひなど飯  
 14 36 14 きしろふ(まき)しろう保 ましろう麦阿 ま  
 しらふ阿  
 14 36 14 ふきたてけに吹たてゝ麦阿  
 14 36 14 いとましくもいとまじうも保言いとましく

飯

14 37-01 たちとは保言麦阿とち飯  
 14 37-01 給ふつへき 給へき保言飯麦阿  
 14 37-01 人さま人のさま保言さま飯  
 14 37-01 世人はよの人は保言飯  
 14 37-01 にほふ兵部卿にほふひやうふきやうの宮  
 保  
 14 37-02 いひつゝけていひつつけて保言  
 14 37-02 おはするもち給へる麦阿  
 14 37-02 やつことなきやむことなき保言飯麦ことな  
 き阿  
 14 37-03 きこえこちきこえこちいて保言聞えうち  
 いとうちちこちトスル八後補力言聞え麦  
 阿  
 14 37-03 あれはあはれには先出はアルカ保  
 14 37-03 宮はナシ飯  
 14 37-03 さま／＼にさま／＼麦阿  
 14 37-03 わたりをはあたりをは保八あ二削訂力保  
 言麦阿わたりをは飯  
 14 37-04 の給ひよりてのたまひて保の給よりつゝ麦  
 阿  
 14 37-04 御けはひおほんけはひ保けはひ言麦阿御  
 けはひ補入八本文同筆力言ナシ飯  
 14 37-04 ありさまをも御ありさま飯有様をも  
 阿  
 14 37-04 給ふたまひ保給に言給麦阿  
 14 37-04 わさとナシ麦阿  
 14 37-04 御心におほん心に保心に麦阿  
 14 37-04 つけてつきて言飯麦阿

14 37-05 おほすおもほす飯  
 14 37-05 かたはことに事は麦阿  
 14 37-05 冷泉院のれんせいゐんの保飯  
 14 37-05 女一の宮をそ女一の宮のみそ保言飯一宮  
 をも麦女一宮をも阿  
 14 37-05 さやうにてもさやかにても保さやうにて  
 飯  
 14 37-05 みたてまつらはやみたてまつらは保言阿見  
 たてまつらは飯奉らは麦  
 14 37-06 おほしたるはおほしとおほしけるに保おほ  
 いたるに言おほしよる飯おもほしたるは麦  
 阿  
 14 37-06 をもくをもりかに保言  
 14 37-07 御けはひけに御けはひも麦阿  
 14 37-07 有かたくありかたう保言麦阿  
 14 37-07 すくくてナシ保言よにすくくて飯  
 14 37-07 きこえ御をほえ保言  
 14 37-07 おはしますにおはします飯  
 14 37-08 ましてまいて保言阿いて麦  
 14 37-08 すこしちかくもちかう保言すこしちかく  
 飯すこしちかくも麦阿  
 14 37-08 さふらひなれたるさふらひなれたるひ二削  
 訂力保さふらふ飯  
 14 37-08 女房女も麦  
 14 37-08 御有さまのおほんありさまを保言飯おほ  
 ん御言飯御有様の麦  
 14 37-09 ふれてふれつゝ保言ふれてつゝ保  
 14 37-09 きこえつたふる聞えいつる言  
 14 37-09 いとよいよ／＼保言飯

14 37-09 忍ひかたくしのひかたう保言  
 14 37-09 へかめりへかめる也麦阿  
 14 37-10 ふかくふかう保言飯  
 14 37-10 思すましたるおもひすくしたる保  
 14 37-10 心なれはころなれは保心なれ飯  
 14 37-10 心とよめて心をとよめて麦阿  
 14 37-11 なんと麦阿  
 14 37-11 おもふにおもへは保言麦阿おもふに飯  
 14 37-11 あたりにわたりに飯  
 14 37-11 かつらはんはかつらはんことな削訂ア  
 ルカ飯  
 14 37-12 つましくなとすさまじう保言すさまじ  
 しょう保つましなと飯つましうなと麦  
 阿  
 14 37-12 思すて給おもひすてたまうも保言飯  
 14 37-12 ほとほとの保言阿  
 14 37-12 ゆるししるし阿  
 14 37-13 事などはすきこころは保言すきこころは  
 保すきことは飯  
 14 37-13 ましてまいて麦阿  
 14 37-13 三位の宰相にて三のさいしやうにて保三  
 位宰相にて飯四位宰相にて麦阿四三イ位  
 宰相にて阿  
 14 37-14 中将も中将を飯  
 14 37-14 はなれすはなれ給はず飯麦阿  
 14 37-14 御門みかと麦阿  
 14 37-14 きさきのきさいの宮の保言きさいの飯后  
 との麦阿

14 37 14 御もてなし おほんもてなし保  
 14 38 01 たゝ人にては たゝ人にて飯  
 14 38 01 はゝかりなき はゝかりもなく保言飯 はゝか  
 りなく麦阿  
 14 38 01 人の人飯  
 14 38 01 おほえにておほえにも保 おほえに言にて  
 飯 御おほえに麦阿  
 14 38 01 物し給へとおわすれと麦阿  
 14 38 01 心の中には こゝろのうちに保飯 心中には  
 麦阿  
 14 38 02 思るかたありて 思しり麦阿  
 14 38 02 物あはれに 哀に言  
 14 38 02 なとも などそ保 など言飯麦阿  
 14 38 02 ありければ ありければるヲ削ツテれヲ書ク  
 保 おほされければ飯  
 14 38 03 をさゝ おうなゝ 麦阿  
 14 38 03 よろつの事 よろつのことを飯  
 14 38 03 もてしつめつゝ んてしつめつゝ 保もてしつ  
 めつと飯  
 14 38 04 人にも 人に飯  
 14 38 04 三宮の 三の宮の保言 二の宮の 本文同筆  
 力言 三宮わりなく飯  
 14 38 04 年に とし月に保言飯  
 14 38 04 そへて そへては麦阿  
 14 38 04 ひめ宮 姫君麦  
 14 38 04 御あたりを 御わたりと飯  
 14 38 05 みるにも しねんに保言  
 14 38 05 ひとつ院の 一院の麦阿  
 14 38 05 中に うちに保言飯麦阿

14 38 05 立なれ給へは たちはなれ たまはねは保は  
 なれ給はねは言 たちなれ給へは飯  
 14 38 05 ふれても ふれて保言  
 14 38 05 有さまをおほんありさまを保言飯おほん 御  
 言飯 有様麦阿 有さま阿  
 14 38 06 きゝみ たてまつるに みきゝたまふに保  
 言 見聞ゝ給に言 見きゝたてまつるに飯麦阿  
 14 38 06 御もてなし 御ありさま保言  
 14 38 07 かやうなる かやうならん保言飯 かゝらん麦  
 阿  
 14 38 07 人をひとのおほんあたりををヲ削ツテのヲ  
 書ク力 保 御あたりを言 人の御ありさまを  
 飯  
 14 38 07 みんなにこそ みんなこそ保言飯麦阿  
 14 38 07 かきりの ナシ飯  
 14 38 07 心ゆくへき 心行飯  
 14 38 08 なれとなへかめれとは保なるへかめれと  
 言ならめと飯  
 14 38 08 思ながら 思給を麦阿  
 14 38 08 大かたこそ おほかたにこそ保言飯  
 14 38 08 へたつる事 へたつることん保  
 14 38 08 おほしたれ おもほしたれ麦阿  
 14 38 08 ひめ宮 ひめ宮保  
 14 38 09 こよなく こよなう保言いとこよなく  
 飯  
 14 38 09 け遠く けとをく 保 けとをう言  
 14 38 09 ならばさせ給も ならばせ給も飯  
 14 38 09 わつらはしければ はずらはしければ言あな

つらはしければ麦阿  
 14 38 10 外の 外なる飯  
 14 38 10 つかは つかは言  
 14 38 10 いと ナシ保言  
 14 38 10 あしかるへき あしかへい保言 あしかるへい  
 言 あやしかるへき麦阿  
 14 38 11 事と 事を言  
 14 38 11 物なれよる ものなれたる保言  
 14 38 11 わかかく きれいのかく保言 わかく飯 我かく  
 麦 我から阿  
 14 38 11 人に 人めに麦阿  
 14 38 11 給へる 給麦阿  
 14 38 12 有さま 人の御ありさま飯 有様麦  
 14 38 12 はかなく はかなう保言  
 14 38 12 こと葉を ここのはを保飯  
 14 38 12 こよなく こよなう保言  
 14 38 12 もてはなるゝ心なく もてはなるゝはなく保  
 言飯  
 14 38 13 なひきやすなる なひきやすきなる保 なひき  
 やすけなる言 なひきやすめる阿  
 14 38 14 人のために 人のためなとも飯  
 14 38 14 ことゝしく うとゝしく保 ことゝしく  
 言飯  
 14 38 14 など なとも保言麦阿 ナシ飯  
 14 38 14 よく よう飯麦阿  
 14 38 14 まきはし もてなして飯  
 14 38 14 そこはかとなく そこはかとなう麦阿  
 14 39 01 なさけなからぬ なさけならぬ阿  
 14 39 01 ほとん ほとん麦阿

14 39 01 思よれる おもひよはる保言飯 おもひよは  
る保  
14 39 01 人は人麦阿  
14 39 01 いさなはれつゝいさなはれたてまつり  
飯  
14 39 01 三條の宮に三條宮に言飯麦阿  
14 39 02 あつまるはあつまるも保言あつまりて  
飯あつまりつゝ麦阿  
14 39 02 つれなきをされともつれなき御ありさまを  
麦阿  
14 39 02 みるも見るにも飯  
14 39 02 なめれとなめれと保なれと飯  
14 39 03 よりはよりはと保言飯  
14 39 03 心ほそきに心ほそけに飯  
14 39 03 思わひて思わひつゝ保言思つゝ飯  
14 39 03 契にナシ保言飯  
14 39 04 いとナシ保言  
14 39 04 なつかしうなつかしく飯  
14 39 04 御有さま御心さま保言御有様麦  
14 39 05 人ひと保言  
14 39 05 はからるゝかゝる飯麦阿  
14 39 05 みすくさるみすくす保言見すくさす飯見  
すこさる麦阿  
14 39 05 おはしまさむおはしまさむすノ上カフさむ  
ヲ書ク飯  
14 39 05 よの御よの保言  
14 39 06 御めかれす御めかれす本文同筆力言御  
めかれせず飯  
14 39 06 御覽せられ御らんせさせ麦阿

14 39 06 みえたてまつらんをみたてまつらんを言  
飯  
14 39 06 おもひの給へはおもふたまへは保飯思ひ給  
へり言思給へは飯  
14 39 07 御むすめたちおほんむすめたち保  
14 39 07 ひとりノはひとりとは言飯ひとりノ  
はと本文同筆力言  
14 39 07 心さしおもひ心さし飯  
14 39 07 なからなから保  
14 39 07 えことにてたまはずえことにてたまはず  
保ことにて給はず言飯  
14 39 08 さすかになにかは保言  
14 39 08 なからひなるをとほなからひをとほ言御な  
からひなりとは飯  
14 39 08 思なせとおほしなせと飯  
14 39 09 おきてそむきて保言  
14 39 09 なすらひなるへきなすらひなる保飯  
14 39 09 もとめいつへき世かはともとめいつへきに  
もあらぬよかなと保もとめいつへきにもあ  
ら(ぬ)世かな本文同筆力言もとめいつ  
へきにもあらぬよをなと飯  
14 39 09 おほしおもほし飯麦阿  
14 39 10 内侍のすけ腹ないしはら保言内侍のはら麦  
阿  
14 39 10 六の君とか六君中に飯六君麦阿  
14 39 10 心はへこころはせ保言飯  
14 39 11 おひいてをいひいて保  
14 39 11 給ふを世のたまふよその保言飯  
14 39 11 おほえのおほえおもひ飯

14 39 11 なるへきなへき保言なへい言  
14 39 11 かくナシ飯  
14 39 11 あたらしきをあたらし敷麦あたらしき阿  
14 39 12 心くるしう心くるしく麦阿  
14 39 12 おほしておほされて飯おもほして麦  
阿  
14 39 12 一条の宮の一条宮の飯麦阿  
14 39 12 さるさるへき保言  
14 39 12 あつかひくさあつかひくさも保言麦阿くさ  
はひ飯  
14 39 12 もたまへらてもたまへらぬに保もたまへら  
ぬか言もたまへられて飯トモぢ給はて麦  
阿  
14 39 13 むかへとりてむかへとり保言麦阿むかへと  
りて飯  
14 39 13 なくてなつて保  
14 39 14 心とゝめ給てんナシ飯  
14 39 14 有さまをもありさまをモ本文同筆力言有  
様も麦  
14 39 14 するみする保言飯  
14 40 01 おほしておほいて保言おもほして麦  
阿  
14 40 01 いくくはいくくしう物ぶかうなどは保  
言いくくしう物ぶかうは飯いくくしう麦  
阿  
14 40 01 もてなし給はずもてないたまはず保言もて  
なし(い)たまはず保もて給はず飯  
14 40 01 給はず給麦阿

14 40 01 いまめかしくおかしきいまめかしき保言お  
かしき麦阿  
14 40 01 やうにさまに麦阿  
14 40 01 ものこのみものこのみを飯  
14 40 02 せさせてせさせて後補力言  
14 40 02 心つけんこころをつけん保飯  
14 40 02 おほくおほう保言  
14 40 03 まつけまつけは麦阿  
14 40 03 六条院六てうのぬん保言六条の院後補  
力言  
14 40 03 心ことにことに麦阿  
14 40 03 し給てし給ふて「ふヲひ二直ス八後補力」  
言  
14 40 03 みこをもみこたちも麦阿  
14 40 04 みこたち御こたち保  
14 40 04 おとなにおとなひ麦阿  
14 40 04 きさい腹のはきさいはらは保后はらの麦  
阿  
14 40 04 いつれともなくいつれとなく飯麦阿  
14 40 05 けたかくきよけにおはしますみなけたかう  
をかしけにみえたまふ保言  
14 40 05 中にもなかにも保  
14 40 05 きよけきよら麦阿  
14 40 05 中にもうちに飯  
14 40 05 此ナシ保言麦阿此飯  
14 40 05 兵部卿の宮はひやうぶぎやうのみや保言ひ  
やうぶひやうぶ保兵部卿宮言兵部卿宮  
は飯麦阿  
14 40 05 けにナシ麦阿

14 40 06 こよなうこよなくをかしけに保言こよな  
くこよなう本文同筆力言こよなくけ  
うらに飯  
14 40 06 四のみこ四のみや保言四宮言  
14 40 06 ひたちの宮ときこゆるひたちの宮ときこゆ  
るは飯麦阿宮みこ麦阿  
14 40 06 更衣腹のはかづるはらにて飯  
14 40 07 こよなうこよなく保言飯おほく麦阿  
14 40 07 左左ひたり左力後補力言  
14 40 07 あなかちにかちぬあなかちにかちぬれば飯  
阿あなかちぬれば麦  
14 40 07 れいよりはとく事はてれいよりもいと  
うはて保言とくことはて飯  
14 40 07 大将大さう保大殿飯大将殿麦阿  
14 40 08 兵部卿宮ひやうぶきやうの宮保言兵部卿  
宮の宮本文同筆力言兵部卿四宮麦  
14 40 08 ひたちの宮ひたちのみや保ひたりの宮  
飯ひたちの宮は麦  
14 40 08 きさき腹のきさいはらの保言后腹の麦  
阿  
14 40 08 五の宮と五みやと保麦阿五みやの御こと  
(と)保五のみ言  
14 40 08 ひとつ車にひとつ御くるまに保言飯  
14 40 08 のせよせ麦阿  
14 40 08 たてまつりてたてまつりたまひて保言  
14 40 09 まかて給まかて給に飯給麦  
14 40 09 宰相中将はさい將の中將は保言宰相の中  
將は本文同筆力言宰相の中將飯  
14 40 09 まけかたまたかけ言

14 40 09 をとなくをとなう保言をとなくて飯  
14 40 09 給にけるを給けるを飯八にノ上カラけヲ書  
ク保言飯麦阿  
14 40 10 をしとめさせてをしとめさせ給て  
飯  
14 40 10 右衛門のかみゑもんのかみ保麦阿右衛門督  
言衛門督飯  
14 40 11 さらぬさぶらふ言  
14 40 11 これかれにこれかれ保言飯  
14 40 11 のりまじりのりまじりて飯麦阿  
14 40 12 六条院へおはす六てうのぬんにおはする保  
八へヲ削ツテにヲ書ク力保言飯六てうのぬ  
んに六條の院に本文同筆力言六条院に  
飯  
14 40 12 雪ゆきの保  
14 40 12 いさかナシ飯  
14 40 12 ちりてちりて後補力言うちちりて飯  
14 40 12 也より言  
14 40 12 物のねものねとん保言飯とんとも言飯  
14 40 13 ふきたてあそひて入給ふをふきたてうた  
ひあそひいらたまふ保言飯たまふ給を飯  
14 40 13 あそひてあそひて麦あそひ阿  
14 40 13 仏の国にはほとけのみくにか保言みく  
に御国言仏の御国かは麦阿  
14 40 14 おりふしのおりふしの飯  
14 40 14 心やり所を心をイやるこころを保心を  
やる所を言心やりとこころを飯心やり所麦

阿  
 14 41 01 中少将 中将言 中少将のさに麦阿  
 14 41 01 つきわたり つきにたり麦阿  
 14 41 01 むかひて むかへて保言麦阿 むかいて飯  
 14 41 01 彖かの 彖んかの保言 ナシ飯麦阿  
 14 41 01 みこたち上達部の かんたちちめ御子たちの  
 飯みこ上達部の麦阿  
 14 41 02 御かはらけなど おほんかはらけなど保  
 14 41 02 物 ナシ保言  
 14 41 02 おもしろく をもしろう保言  
 14 41 02 もとめこ をとめこ保飯麦阿 茂をとめこ傍  
 記力保  
 14 41 02 まひてかよる まひたる保言 まひよる飯麦  
 阿  
 14 41 03 袖ともの そとんの保 そてくち麦阿

14 41 03 うちかへすは かへすは麦阿  
 14 41 03 御前 おまへ保言  
 14 41 03 梅の こうはるの飯  
 14 41 03 いたく ちかふ保言 いたう飯  
 14 41 03 ほころひこほれたる ほころひたる麦阿  
 14 41 04 うちりわたれるに うちりたるに保言  
 飯 うちりこほれたるに麦阿  
 14 41 04 御かほりの 御かほり保飯麦阿 御かほりの  
 「後補力」言  
 14 41 04 いとしくい としく保言 めてたく麦  
 阿  
 14 41 05 はつかに わつかに麦阿  
 14 41 05 なとも ナシ麦  
 14 41 05 あやなく あやなくと保言  
 14 41 05 心許なき 心やましき保言飯  
 14 41 06 けに ナシ保言飯

14 41 06 似たる なる麦阿  
 14 41 06 なかりけれとめて あへり けになかりけれと  
 めてきこえあへぬ 保補入アル力保言  
 14 41 07 よつぬも よつぬ飯 よほをひも麦 よそほひ  
 も阿  
 14 41 07 常より つねよりも保言飯  
 14 41 07 まさりて まさり飯  
 14 41 07 おさめたる をさめ給へる保言 おさ／＼おさ  
 めたる麦阿  
 14 41 07 みて ナシ保言 み給て飯  
 14 41 08 こゑくはへ なをこえくはへ保言飯 なをおし  
 てくはへ麦 なををしてこゑくはへ阿  
 14 41 08 まらうとたしや まらうとたし保 まう人  
 たし言 まめたし麦阿  
 14 41 09 神のますなとかみのますやなど保